

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
C A D 演習 CAD		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小林 大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)	授業中に指示します	
授業の概要				
CAD (Computer Aided Design) は、コンピュータ支援設計とも呼ばれ、コンピュータを用いて設計をすること、あるいはコンピュータによる設計支援ツールのこと (CADシステム) である。本講座ではMicrosoft Visioを用いてCADの仕組みと基本操作について学ぶ。				
授業の到達目標				
①Microsoft Visioで地図を作成することができるようにする。 ②Microsoft Visioで住宅設計、フロアプランを利用することができるようにする。 ③立体物の平面展開図を作成することができるようにする。				
授業の方法				
Microsoft Visioの基本を解説した後、地図、フロアプラン、住宅設計、立体物の設計図作成、立体物の組み立てを行う。				
学習の成果				
①CADのしくみについて説明することができる。 ②立体物の設計図を描くことができる。 ③ビジネス文書用の簡単な図表、イラストを描くことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、CADとは			
第2回目	Microsoft Visioの基本機能			
第3回目	レイアウト図の作成 (地図の作成1)			
第4回目	レイアウト図の作成 (地図の作成2)			
第5回目	レイアウト図の作成 (フロアプランの作成)			
第6回目	レイアウト図の作成 (簡易的な住宅設計1)			

第7回目	レイアウト図の作成 (簡易的な住宅設計2)		
第8回目	立体物の2次元表現 (正多面体の設計図の作成1)		
第9回目	立体物の2次元表現 (正多面体の設計図の作成2)		
第10回目	立体物の2次元表現 (正多面体の設計図の作成3)		
第11回目	立体物の2次元表現 (正多面体の設計図の作成4)		
第12回目	立体物の2次元表現 (サッカーボールの設計図)		
第13回目	ペーパークラフトの作成 [正多面体 (正四面体、正六面体、正12面体) の組み立て]		
第14回目	ペーパークラフトの作成 [サッカーボールと特殊図形 (別途指示) の組み立て]		
第15回目	制作物の提出とまとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート		100%	地図 (10)、家の間取り図 (20)、正四面体 (10)、正六面体 (10)、正12面体 (10)、サッカーボール (30)、特殊図形 (10) で採点する (カッコ内は配点)。採点の満点条件は授業にて説明する。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)			
その他			無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する。制作が雑な場合は制作物1つに対して5点減点。制作物が不足している場合は評価不能とする。
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。			
履修上の心得・ルール			
はさみとのりを各自用意すること。貸し出しはしない。演習中の私語や、演習以外のPCの利用は慎むこと。			